

# とよのつこ

学校便り  
長野市立豊野西小学校

5月  
平成24年度

## 5月の取り組み

### 姉妹清掃がんばっています!

今年度、学校目標「克己・連帯」をうけての重点目標の一つを「そうじ：協力して清掃ができる子ども」としました。昨年度は無言清掃に力を入れて取り組みましたが、今年は、姉妹学級清掃等で、協力して取り組むことに力を入れて取り組んできています。

5月7日から7月6日まで姉妹清掃を始めました。低学年は、高学年から清掃に取り組む姿勢や清掃のやり方について学び、高学年は低学年の手本となるように取り組み、低学年に教えたり励ましたりする中で、心の交流が図れるようにというねらいで進めてきています。

どの学年もがんばっています。例えば5年生と2年生の取り組みでは、2年生の教室を5年生がよい手本をみせながら、お掃除をしています。一生懸命取り組んでいる姿がたくさんみられるようになりました。



## 5月の行事から



**よもぎ集め（14日・21日）** 今年のよもぎ集めでは、2日間で1200kg集まりました。お家の方には、大変ご協力をいただき、ありがとうございました。



**音楽鑑賞教室**が5月10日「オペラアンサンブル・ヴォーチェ」という団体が東京から来校し、本格的なオペラを聴かせくれました。生のとても大きな響く声に子どもたちは、感激していました。



5月8日 やっと遠足日和になりました。2年生は髻山へ登ってきました。みんなけがもなく元気に行ってきました。



5月21日  
天候に恵まれ、朝早くから登校して日食を見ようとする子どもたちで理科室の前は賑わいました。子どもたちは、日食の幻想的なショーをみることができ、みんなで大喜びでした。

## 校長講話より 平成24年5月16日

今年度が始まって1ヶ月以上たちました。家庭訪問や連休、遠足がすぎて学校生活に慣れてきたことと思います。早く一人前の小学生になろうとしている1年生。その1年生に分かってもらおうと、清掃や集団登校をとおして一生懸命学校生活について教えている高学年のお友だち。どちらもいいですね。つい先日今年度が始まったのに、もうすぐ1学期も半ばです。

最近、暑さ、寒さが急に変わります。また、大雨や竜巻も起きていることを聞いたことがあるでしょう。家が水に浸かった、流されてしまった。また、竜巻で家が吹き飛ばされ大けがをする。こんなことが起きたら大変ですね。

こうしたことがおこるのは、なぜだろう。科学者は調べています。もしかしたら太陽、お日さまのことですが、太陽の様子が変わってきているかもしれないという人もいます。

太陽について科学者たちが調べ始めたのは今から400年ほど前からです。ずいぶん昔だと思うかもしれませんが、テレビで放送している平清盛という人が活躍していたのは、900年も前です。ですから、私たちが太陽について知り始めたのは、つい最近といってもいいでしょう。

少し難しいお話ですが、気がつかないくらい、ほんのわずか太陽の光が弱くなると、世界中が氷に覆われてしまうそうです。ですから大昔に地球のかなりの場所が氷に覆われていたこともあったということです。太陽のことは分かっていないことがたくさんあるのです。

来週の21日 月曜日には金環食といって太陽と私たちのちょうど間に月が通り、太陽が欠けて見えることがおこります。昔の人もお日さまがあたらないと、寒いし、お米もよくできないことは分かっていました。ですから、太陽を神さまのように尊敬していたのです。

昔の人は太陽、お日さまを大切にしていたのです。太陽のことをお天道様とも呼んでいます。日本には、「お天道様に恥ずかしくないように」という大切な教えがあります。それは、誰も見ていなくてもお天道様は自分のことを見ている。だから、ほめられなくとも頑張ろう、怒られなくとも悪いことは止めよう。という考えです。そうじをきちんとやっている人、友だちに優しくできる人、きまりを守る人、勉強や運動を頑張る人。くつをきちんとそろえられる人。そういう人が「お天道様に恥ずかしくない人」だと思っています。先生方もお天道様にはずかしくないように生きています。

21日は晴れるといいですね。先生も朝早く来て、学校で日食を観測しようと、今から道具をいくつか用意しています。みなさんも一緒に見られるといいですね。

